

No. 1

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
 THE EAST ASIAN LIBRARY
 540 EAST 57TH STREET
 CHICAGO, ILL. 60637

RY

12

第三国集団研修実施協議調査団報告書

— コスタ・リカ、麻薬犯罪防止 —

JICA LIBRARY



107127763

18421

昭和63年9月

国際協力事業団
研修事業部



国際協力事業団

18421

序 文

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れて、より現地事情に適合した技術、知識の移転を図り、これにより、開発途上国間協力の推進に寄与することを目的としている。昭和49年度、タイのコラート養蚕研究訓練センターで初めて実施して以来、年々、第三国研修実施協力要請は増え続け、昭和62年度には16ヶ国で、36コースを実施した。

コスタ・リカにおいては、現在2件の第三国研修が実施されており（コスタ・リカ大学・電子顕微鏡及び、熱帯農業センター・アグロフォレストリー）コスタ・リカ国内外において、高い評価を受けている。これに加え、麻薬犯罪防止分野での第三国研修の実施可能性を調査するため、本年4月にコンタクトミッションが派遣され研修実施の基本事項につき協議を行った。その結果、コスタ・リカに所在する国連ラテン・アメリカ犯罪防止研究所を実施機関として第三国研修を実施すると基本方針が決定され、同研修の実施細目について協議を行うため実施協議調査団が派遣されるに至った。本報告書は、その調査結果、協議内容を取りまとめたものである。

本件の実施についてご協力を賜った外務省、法務省、アジア極東犯罪防止研修所、及び在外公館に深甚な謝意を表する次第である。

昭和63年9月

研 修 事 業 部 長

目 次

序文

	頁
1. 実施協議調査団の派遣	1
1. 1 要請の背景と派遣の経緯	1
1. 2 調査団の構成	2
1. 3 調査日程	2
1. 4 主要面談者	2
2. 協議議事録（R/D）作成の協議経緯	
2. 1 実施機関とコスタ・リカ政府の関係	4
2. 2 研修計画	5
(1) コース	5
(2) 目的	5
(3) 到達目標	5
(4) 協力期限	5
(5) 研修時期・期間	6
(6) カリキュラム	6
(7) 割当国	6
(8) 定員	7
(9) 資格要件	7
2. 3 実施手続	7
2. 4 我が国の協力内容	8
(1) 実施経費	8
(2) 専門家派遣	10
(3) カウンターパート受入れ	11

付属資料

- 資料1 Record of Discussions
- 資料2 General Information (案)
- 資料3 I L A N U Dの概要(パンフレット)

1. 実施協議調査団の派遣

1.1 要請の背景と派遣の経緯

昭和61年7月、コスタ・リカ政府は日本大使館を通じて犯罪防止分野の第三国研修実施に対する我が国の協力を要請越した。当時コスタ・リカにおいては既に昭和56年度からコスタ・リカ大学において「電子顕微鏡」の第三国研修を実施しており、また、熱帯農業研究訓練センター（CATIE）において「アグロ・フォレストリー」の研修コースを新規に開始すべく実施協議を進めていた。昭和61年度は「アセアン太平洋人造り協力・緊急行動計画」の一環として実施した10件を含め第三国集団研修を全世界で33件実施したが、コスタ・リカにおいては既に2件実施する方針が確定していたため、新規案件の実施には慎重に対応を検討することとなった。

昭和62年12月、翌年度以降の新規コースの実施可能性を検討するため、外務省、法務省（国連アジア極東犯罪防止研修所：UNAFEI）を交じえ上記要請に対する対処方針会議を行った結果、実施機関として提案されている国連ラテンアメリカ犯罪防止研究所（以下西語のイニシャルをとってILANUDとする）は、組織の活動内容、第三国研修の実施運営能力等について不明な点が多いが、研修のテーマを「麻薬犯罪防止」とすれば内外へのPR効果も高いため昭和62年度内にコンタクトミッションをコスタ・リカに派遣して可能性調査を行うことを目標として、コスタ・リカ側の意向を打診することとした。

これを受けて翌年1月、在コスタ・リカ大使館を通じて主な研修項目についての我が国をILANUD側に提案したところ、先方もこれに異存なかったため、4月9日から18日までコンタクトミッションを派遣した。同調査団は研修実施機関となるILANUDの組織概要を初めとして、コスタ・リカに於いて本分野の研修を実施することの意義を確認しただけでなく、研修の実施を想定した場合の具体的内容及び我が国政府の支援内容等についても意見交換を行った。

その結果、外部講師の招へい経費、研修員の滞在費単価、我が国から派遣すべき専門家のT/R等につき検討すべき問題点を残したものの、本研修の必要性及びコスタ・リカのILANUDに於ける実施の意義は十分認められ、早期に実施すべく準備を進めることとなった。

本研修は実施時期に併せ我が国から専門家を若干名派遣することを前提としているが、専門家の国内所属先であるUNAFEI側の事情もあり、第1回の研修実施時期は1989年の1月に限定された。従って研修内容の確定、募集手続き、実施準備等に必要な期間を勘案すると、遅くとも8月までにはR/Dを作成・署名する必要がある。

他方、前記コンタクトミッションの帰国報告後、大使館を通じていくつかの問題点につき我が国の方針を先方に伝え（詳細は後述）、先方の意向とすり合わせを行うことができたため、R/Dの署名までをT/Rとした実施協議調査団を7月末に派遣することとなった。

1. 2 調査団の構成

団長・総括：岡 部 和 夫 J I C A 研修事業部長
研修計画：堀 内 国 宏 アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）次長
研修運営：岡 本 茂 J I C A 研修事業部管理課

1. 3 調査日程

7月24日（日） 東京発
25日（月） サンホセ着（夜）
26日（火） 大使表敬（公邸）、大使館訪問打合せ、ILANUD所長表敬、
外務省審議官表敬、最高裁判所長官表敬
27日（水） ILANUD関係者と協議
28日（木） 同上
29日（金） R/D署名、GI内容打合せ、
コスタ・リカ大学 小塚専門家訪問（電子顕微鏡コース）
30日（土） 資料整理
31日（日） 同上
8月 1日（月） CATIE訪問（アグロ・フォレストリー、内村専門家）
2日（火） サンホセ発 団長及び堀内団員はロサンゼルス経由4日帰国
岡本団員のみマイアミ経由、以下
3日（水） リオデジャネイロ着 J I C A 事務所と打合せ
4日（木） オズワルド・クルス財団訪問（ワクチン品質管理コース）
リオデジャネイロ発
6日（土） 帰国

1. 4 主要面談者

ILANUD（国連ラテン・アメリカ犯罪防止研究所）

Mr. Jorge A. Montero : 所長
Mr. Ronald J. Woodbridge : 補佐
Ms. Isabel Chacon : 国際協力担当
Ms. Sonia Ma. Braenes : 総務財務担当
Ms. Cristina Rojas : 調整官（最高裁国選弁護人）
Mr. Gustavo : 所長秘書

コスタ・リカ外務省

Dr. Alvar Antillon : 外務審議官

コスタ・リカ司法省

Dr. Luis Paulino Mora : 司法大臣

コスタ・リカ最高裁判所

Dr. Miguel Blanco : 長官

在コスタ・リカ日本大使館

多田敏孝 : 特命全権大使

渡辺利夫 : 参事官

大上安定 : 二等書記官

鮎川紀之 : 職員

JICA 専門家

小塚芳道 コスタ・リカ大学医学部

内村悦三 CATIE (熱帯農業研究教育センター)

JOCV 調製員

松山博文

2. 協議議事録 (R/D) 作成の協議経緯

2. 1 実施機関とコスタ・リカ政府の関係

本研修の実施機関は国際連合の地域研修・研究所のひとつである「国連ラテンアメリカ犯罪防止研究所」(ILANUD)であり、通常第三国研修を実施する場合の実施機関が実施国政府の一機関であるのに対し性格を異にしている。我が国の第三国研修の中には国際機関を実施機関として実施した例があり、現在コスタ・リカで実施中の「アグロ・フォレストリー」コースも中南米の地域機関である熱帯農業研究訓練センター(CATIE)に於いて実施されている。実施段階の手續・運営の面では実施機関が国際機関であっても特に支障はないが、実施機関所在国政府を関与させずに当該国際機関と我が国との合意のみによって第三国研修を実施した場合、次のような問題が想定される

- (1) 要請書及び実施回答が当該国際機関と我が国大使館との間の書状の形式をとるため我が国の技術協力実施手続き上の基本である国際約束が形成されない。
- (2) 研修員の募集手続きを当該機関と各割当国の関係当局あるいは関係機関との直接交信により行うため政府間協力の色彩が薄くなるのみでなく、各参加者が自国政府の推薦を得るべき資格要件が確保されないおそれがある。
- (3) 研修実施に併せ短期専門家を派遣する場合、要請書に当該国政府のエンドースを受けないため、派遣期間中の特権・免除が確保されないおそれがある。

以上の理由から、本件についても我が国とコスタ・リカ政府との国際約束のもとに実施する形式とする方が望ましいため、実施までの手続きは次のとおりの方針とした。

(実施協議) 本調査団とILANUDとで実施細目を策定、双方の代表がR/Dに署名し、双方はそれぞれ自国の政府に右内容を提言する。

(計画決定) 我が国政府より在コスタ・リカ大使館を通じて、コスタ・リカ政府に対し上記案件を実施する旨通報する。

(募集手続き) ILANUDが作成したG. I. (募集要領)をコスタ・リカ外務省が外向チャネルを使って各割当国に配布し、同じルートで募集を受付け、更に受入れ回答を行う。

(専門家派遣要請) 我が国に対する専門家派遣要請書(A1フォーム)はコスタ・リカ政府から大使館あて提出させ、大使館からB1回答を行う。

(2年度目以降の計画決定) 第2年度目以降は、毎年コスタ・リカ政府から大使館経由で要請書を提出させ、我が国外務省で計画決定後、大使館を通じて先方政府に実施通報を行う。実施内容の修正後、詳細については直後ILANUDと協議を行う。

今回の協議において本調査団が上記方針を説明したところ、先方は本件の実施についてはコス

タ・リカ政府も全面的に支援する方針であり、特に司法省は I L A N U D と密接な関係にあるので、今回の R / D に司法大臣も署名したい旨提案越した。我が方としては特に異存なく、また我が国コスタ・リカ政府間の協力である面が強調されるためむしろ歓迎すべきことであり、これに同意した。その結果、R / D の署名者は、I L A N U D 所長、司法大臣と調査団長の 3 者となった。

2. 2 研修計画

(1) コース名称

先方案は「犯罪防止地域セミナー」を前面に出し、分野の説明の形で「麻薬犯罪対策」としていたが、「麻薬犯罪対策」を前面に出し、且つ対策としては司法制度全体の改革を必要とする部分も多いため後半に「刑事司法制度の改革」を追加した。

(2) 目的

地域をラテンアメリカ及びカリブ諸国とし、取扱う内容を薬物の生産、使用、売買、収益金の隠匿工作と明示し、これらの問題の現状把握、理論・実践両面での防止対策の検討と併せ域内での効果的な解決方法の提案を行う。

(3) 到達目標

- a) 域内の薬物犯罪の現状認識
- b) 薬物問題の原因と効果的対策に必要な要因の分析
- c) 各国の薬物問題対策の現状分析
- d) 薬物問題とその対策に係る情報交換
- e) 現実的かつ効果的対策の検討
- f) 薬物問題対策の域内及び国際的政策の案出

(4) 協力期限

1988年度から 5 年間とし、コース名称、目的、到達目標、実施手続き、分担事項等は原則として 5 年間変えないこととするが、研修期間カリキュラム、割当国、定員、資格要件は毎年協議のうえ決めることとした。

第 2 回以降の研修内容については、当方から、第 4 回までは、例えば刑事司法による抑制、立法による抑制、社会啓発・住民参加などによる抑制等の個別的テーマについて実務家レベルの者を参加させ、第 5 回目は第 1 回と同様に各国の政策決定者レベルの者を参加させて全体的な討議を行い、それまでの 5 年間のプログラムの定着を図る構想を提案したところ、先方もこれに賛同した。但し第 2 回以降に具体的に採用するトピックについては第 1 回コースにおける研修員の意見等を集約した上で決定することとし、今回の R / D には 5 年間の協力期限を記載するのみに留めた。

(5) 研修時期・期間

研修期間は2週間のセミナー形式とすることで合意した。

実施時期は我が国から派遣する専門家の国内所属先であるUNAFEI側の事情から1989年1月16日(月)から28日(土)までとした。

(6) カリキュラム

先方要請には具体的計画が含まれていなかったため、当方から全体を

- ① 開講式 (Opening Ceremony)
- ② 全体会議 (Plenary Meeting)
- ③ グループ・ワークショップ
- ④ 全体討議 (General Discussion)
- ⑤ コース評価及び閉講式 (Evaluation Session and Closing Ceremony)

に大別した計画を提案したところ、先方もこれに賛同し、R/D ANNEX Iのと通りの計画とした。

なお、上記のうち②全体会議は、各研修員が自国の現状について報告し、全研修員の認識を共通にさせるものであり、③グループ・ワークショップは全研修員を4つのグループに分け、それぞれのテーマ(テーマとしては、④ラテンアメリカ及びカリブ諸国における薬物犯罪の実状、⑥薬物犯罪に対する立法、刑事司法などの公式な方法による抑制措置、⑤薬物犯罪防止に関する社会啓発活動などの非公式な方法による抑制措置及び、④薬物犯罪に対する国際協力の推進、を予定している)ごとに議論を深め、ペーパーをとりまとめる作業をさせるものである。また④全体討議は、各グループにおける議論を踏まえた上で全体として実行可能でかつ効果的な地域的解決策を求めたペーパーを完成させるものである。

また、日程の内、1月20日の“Visiting Lecturer's Lecture”の時間に我が国から派遣する専門家のLectureを予定している。

(7) 割当国

先方案では、ボリヴィア、ブラジル、コロンビア、ドミニカ(共)、エクアドル、グアテマラ、ボンデュラス、メキシコ、パナマ、ペルー、ヴェネズエラに実施国であるコスタ・リカを加えた12ヶ国であったが、我が方より、薬物問題に関係の深いジャマイカ、パラグアイ、及び中米カリブ諸国のうちエルサルバドル、ニカラグア、トリニダッド・トバゴを追加し、また現政権に対する新規経済援助を留保しているパナマを除外した16ヶ国とすることを提案し同意を得た。

さらに、外部講師を研修員待遇で招請することとなったアルゼンティンを加え(実施経費の項で後述)17ヶ国とした。

(8) 定員

周辺国から20名、実施国であるコスタ・リカから2名とした。

(9) 資格要件

- ① 各国政府から推薦された者
- ② 大学卒または同等の者
- ③ 司法官または薬物問題対策の関係者
- ④ 政策決定レベルの高級官吏
- ⑤ 5年以上の実務経験を有する者
- ⑥ 原則として55才以下の者
- ⑦ スペイン語または英語に堪能な者
- ⑧ 心身ともに健康な者

の8項目とした。

本研修はラテンアメリカのスペイン語圏の諸国を主な対象としているが、ジャマイカ等の英語圏の国も割当てていること、及び我が国の専門家もセミナーに加わることから、同時通訳を利用可能とした。

2. 3 実施手続

実施手続は通常の第三国研修の手続に準じているが、実施機関であるILANUDとコスタ・リカ政府の役割分担を明確にした。(2.1参照)

また、第1回のセミナーでは各国の現状を記したカントリーレポートの内容が重要な資料となるため、コース開始の2ヶ月程度前にはこれらを取りまとめる必要がある。従って、受入れ回答の後、カントリーレポートの作成要領を送付し、これらを集約する手続が追加されている。

本年度の手続スケジュールは以下のとおりとした。(R/D ANNEX IIのとおり)

	<「コ」政府>	<ILANUD>	<日 本>
7月下旬	R/D署名	R/D署名 G. I作成	R/D署名
8月下旬	G. I. 発送 AIフォーム提出		R/D確認
9月	応募受領 受入回答	参加者の選定 カントリーレポート の作成要領送付 経費申請書の提出	専門家人選 BIフォーム提出 経費支出
10月下旬		外部講師の人選 カントリーレポート の受領	
11月		カントリーレポート のとりまとめ セミナー資料の準備	
1月		コース実施	専門家派遣
2月下旬		経費精算書の提出 コースレポートの提出	

2. 4 我が国の協力内容

(1) 実施経費

コンタクト・ミッションの帰国後、先方が提出した経費見積りは以下のとおり合計85千ドル余のものであった。

I 受入諸費 US \$ 42,891.00	1.1 航空費 (ブラジルほか11ヶ国から22名分) 14,995 1.2 滞在費 @ 82.00×14日×22名 25,256 1.3 乗継日当 @ 80.00×22名 1,760 1.4 交通費 @ 20.00×22名 440 1.5 保険料 @ 20.00×22名 440
II 研修諸費 US \$ 25,977.00	2.1 外部講師経費 11,817 -謝金 @ 80.00×14日×4名 4,480 -航空賃 4名分 2,665 -交通費 @ 20.00×4名 80 -滞在費 @ 82.00×14日×4名 4,592 2.2 備人費 14,160 -秘書 @ 1,300×3月×1名 3,900 -通訳 1 @ 175×12日×2名 4,800 -通訳 2 @ 1,125×2月×1名 2,250 -秘書 @ 420×3月×1名 1,260 -残業手当 750 -研修旅 @50×24名 1,200
III 資材費 US \$ 12,350.00	-消耗品 375 -書籍 700 -コピー 875 -開・閉講式 @25×85名 2,125 -通信費 1,000 -印刷製本費 @20×150部 3,000 -通信機器借料 @162.5×14日 2,275 -ビデオ撮影 2,000
IV その他	US \$ 4,060.90 (5%)
合計	US \$ 85,278.90

これに対し、下記のとおり協議の上合意し、結果をR/DのANNEX IIIに添付した。

- 1.1 航空賃：割当国17ヶ国に対し定員が20名であり、国別の人数を予測し得ないこと、及び研修実施時期までに値上げ等の可能性もあるため平均単価として700ドルを計上した。
- 1.2 滞在費：先方は国連基準単価（日額82ドル）を提案してきたが、本邦での研修滞在費標準単価（TIC日額8,100円、約60ドル）と比較しても高額であるため、調査団派遣前に大使館を通じて研修実施時に使用が予定されるホテルの宿泊費を照会したところ、日額45ドルとの回答を得ていた。従って、日当20ドル、宿泊45ドルとして提案したところ、先方もこれに同意した。
- 1.4 交通費：空港からサンホセ市内までの交通費として1名あたり20ドルを計上した。
- 1.5 乗継日当：割当国によっては渡航中に研修員が第三国に滞在を余儀なくされる場合もあり、これに対しては本邦での研修の基準に則り、75ドル（1万円相当）を支給する

こととした。但し、対象となるケースとして4名分のみ(往復)計上した。

1.6 保険料：コスタ・リカ国内では、政府が運営する死亡障害保険のみが適用可能であり、単価20ドルで計上した。

2. 外部講師経費：第三国研修の実施経費の中で外部講師の謝金については、担当時間に応じて負担しているケースがあるが、実施国外から講師を招請する場合の渡航費、滞在費は従来より我が方は負担しないこととしてきた。これは、第三国研修の主旨が実施機関の主体的な運営に期待するものであるため可能な限り内部講師による研修運営を促すためである。本調査団派遣前に大使館を通じて上記方針を先方に伝えたところ、外部講師に係る経費はILANUD側で処理する旨の回答を得ていたが、本調査団との協議の席上、先方より、予定している4名の外部講師を研修員の定員の中で招へいしたい旨提案があった。本件セミナーでは外部講師は当初それぞれ発表を行なうが、その後は各国からの参加者とともに討議に参加することとなるため、研修員との区別が通常の例ほど明確ないこと、及び、特に謝金を要求する訳でもなく他の研修員と同等の待遇でよいことから、我が方はこの提案に同意した。

この結果、定員は対処方針のとおり20名(周辺国)としたが、研修員の割当て対象外であったアルゼンティンから外部講師の招請を予定していたため、同国を割当国に追加した。

2.1 備人費：通訳1はセミナー期間中の同時通訳要員、通訳2は翻訳を主な業務とする者である。

先方要請の秘書(@1,300ドル)は我が国から派遣される専門家の補助を想定している趣であったが、コースの運営・取りまとめを行うキー・パーソンの立場の者として主任秘書として2ヶ月間計上した。

2.2 資材費：消耗品、書籍、コピー、印刷製本費、通訳機器借料、ビデオ撮影費を要請どおり計上した。通訳機器借料とは同時通訳用の設備であり、ILANUDでは国際会議等に際しレンタルで使用しているものであるが、本研修を機会に我が国からの供与の可能性につき、先方より打診があった。これに対し我が方からは要望を持帰る旨回答するに留めた。

2.3 研修旅費：研修旅行の交通費として1名あたり50ドルを計上した。

2.4 開・閉講式、2.5 通信費として先方案のとおり計上した。

この結果、総額は57,400ドルとなった。

(2) 専門家派遣

先方案では、セミナー資料の取りまとめから報告のまとめまでを含むセミナー運営全体の中

心人物である“Academic Director”として我が国から3ヶ月間の専門家派遣を希望していたが、専門家の所属先であるUNAFEI側の都合により最大3ないし4週間しか派遣できないこと、及び第三国研修の主旨（実施国の自助努力に対する我が方の側面的支援）から、我が方専門家がセミナー運営の中心人物になるべきではなく（アドバイザーとしての協力は惜しまない）準備からフォローアップまで第一義的にはILANUD側が主体的に実施すべきであり、我が方専門家は外部講師と同様にFacilitatorとしてグループ討議に参加をすることとしたい旨説明した結果、刑事司法、犯罪者処遇、各1名、3週間程度を派遣することとした。なお同専門家はカリキュラム案のうち、第5日目の講義を行うとともに、全討議・ワークショップに参加し、またコース運営についてのアドバイスも行なう。

(3) カウンタパート受入れ

ILANUDでは国際研修を恒常的に多数主催しているが、本件の如き組織的・総合的に薬物問題を主題としたコースを組むのは初めてであるため、コース運営の手法についての研修受入れを本セミナーの開始前に実施してほしい旨要望越した。

我が方より本年度1名受入れる用意がある旨説明し、速やかに要請書を提出するよう説明した。本邦での受入れ先はUNAFEIとなり、9月に開始する集団コース「犯罪防止（刑事司法）」にも一部合流する可能性があるため、要請書の早期提出の必要性を説明した。


資料1 Record of Discussions

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COSTA RICA AND THE
UNITED NATIONS LATIN AMERICAN INSTITUTE FOR CRIME PREVENTION
AND THE TREATMENT OF OFFENDERS
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME

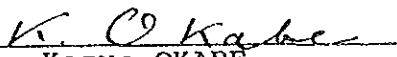
The Japanese Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Kazuo OKABE visited Costa Rica from 25 July to 2 August, 1988 for the purpose of formulating a training course in the field of effective countermeasures against drug offenses under the Third Country Training Programme of JICA.

During its stay in Costa Rica, the Team had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Costa Rica and the United Nations Latin American Institute for Crime Prevention and the Treatment of Offenders (hereinafter referred to as "ILANUD") with respect to the framework of the above mentioned training course and the desirable measures to be taken by the Government of Japan, ILANUD and the Government of the Republic of Costa Rica to ensure its successful operation.

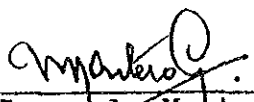
As a result of the discussions, the signing parties have agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto. Signed in San Jose, Costa Rica, at the 28th day of July, 1988.



Mr. Luis Paulino Mora
Minister of Justice
Government of Costa Rica



Mr. Kazuo OKABE
Head of the Japanese
Consultation Team
Japan International
Cooperation Agency



Mr. Jorge A. Montero
Director General
United Nations Latin American Institute
for Crime Prevention and the Treatment
of Offenders

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of Costa Rica will cooperate with each other in organizing a training course in the field of effective countermeasures against drug offenses (hereinafter referred to as "the Course") at ILANUD under the Third Country Training Programme of JICA.

ILANUD will conduct the Course with the support of a technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once a year from the Japanese fiscal year of 1988 to 1992, subject to annual consultation of both Governments.

The Course will be operated in accordance with the followings. Among them, the items 4, 5, 6, 7 and 8 are adopted for the first Course which will be implemented in the Japanese fiscal year of 1988. The contents of those items for the following years are to be mutually determined and agreed every year.

1. TITLE

The Course will be entitled:

"Regional Seminar on Effective Countermeasures against Drug Offenses and Advancement of Criminal Justice Administration".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to conduct an overall examination and evaluation of the problems of drug production, abuse, trafficking and handling of its profits, and prevention and control of them in Latin America and the Caribbean countries with analysis both in theory and fact, as well as planning of feasible and effective regional solutions.

3. OBJECTIVES

By the end of the Course, the participants are expected to be able to:

- (1) further recognize the actual situation of drug offenses in the region,
- (2) sufficiently analyze the causes of drug problems as well as important factors for the effective and efficient countermeasures in not only their own countries but also

- in the region,
- (3) further analyze present countermeasures against drug offenses in respective countries,
 - (4) exchange necessary intelligence regarding drug offences and countermeasures against them,
 - (5) develop feasible and more effective countermeasures, and
 - (6) formulate overall strategies for regional and interregional cooperation against drug offenses.

4. DURATION

The first Course will be held from 16 January to 28 January, 1989.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the first Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

The following countries will be invited to apply for the first Course by nominating their applicant(s):
Argentina, Bolivia, Brazil, Colombia, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guatemala, Honduras, Jamaica, Mexico, Nicaragua, Paraguay, Peru, Trinidad and Tobago and Venezuela.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed twenty (20) in total. And the number of participants from Costa Rica shall not exceed two (2).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the first Course are:

- (1) To be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10-1 below,
- (2) To be university graduates, or to have the equivalent academic background,
- (3) To be presently engaged in criminal justice administration, or other responsibilities relating to the prevention and control of drug offenses,
- (4) To be high-ranking officials at the policy-making level,
- (5) To have the practical experience of more than five (5) years in the related field,
- (6) To be under fifty-five (55) years of age in principle,

- (7) To have a good command of spoken and written Spanish or English, and
- (8) To be in good health, both physically and mentally to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

United Nations Latin American Institute for Crime Prevention and the Treatment of Offenders (ILANUD).

10. PROCEDURE OF APPLICATION

10-1. The Government applying for the Course shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of Costa Rica through its diplomatic channels not later than ninety (90) days before the commencement of the Course.

10-2. The Government of Costa Rica will inform the applying Governments through its diplomatic channels whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

11. UNDERTAKING OF BOTH GOVERNMENTS AND ILANUD

In organizing and implementing the Course, both Governments and ILANUD will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country.

11-1. The Government of Costa Rica

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of the invited countries through its diplomatic channels,
- (2) To receive application forms and forward them to ILANUD,
- (3) To notify the result of the selection to the respective Government through its diplomatic channels, and
- (4) To submit the application form for requesting Japanese expert(s) mentioned in 11-3. (1) below.

11-2. ILANUD

- (1) To formulate the curriculum based on ANNEX I,
- (2) To draft and print the G.I.,
- (3) To recruit an adequate number of experts as lecturers/instructors for the Course,
- (4) To provide training facilities and equipment for

- the Course,
- (5) To select participants in the Course, and to inform the result of the selection to the Government of Costa Rica as well as the Embassy of Japan in Costa Rica (hereinafter referred to as "the Embassy"),
 - (6) To arrange accommodations for participants,
 - (7) To arrange international air tickets for participants from the invited countries and to meet and see them off at the airport,
 - (8) To take budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses financed by JICA,
 - (9) To issue certificates to the successful participants at the end of the Course,
 - (10) To submit a course report and a statement of expenditures to the Embassy, and
 - (11) To coordinate any matters related to the Course.

11-3. The Government of Japan

- (1) To dispatch short-term expert(s), following the regular procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice and deliver lectures for the Course, and
- (2) To bear the following expenses through JICA (the tentative estimate of expenses for the first Course is attached as ANNEX III)
 - a) Such expenses relevant to participants from the invited countries as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums,
 - b) Such expenses relevant to ILANUD as arrangement of meetings and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints and secretarial services.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE

The remittance and expenditure of the funds for the expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure.

12-1 ILANUD will use one of its bank accounts in Costa Rica to receive the fund remitted by JICA, and inform JICA through the Embassy of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.

12-2 ILANUD will submit to JICA through the Embassy a bill

of estimate for expenses to be borne by JICA not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12-4 ILANUD will submit to JICA through the Embassy a statement of expenditures within thirty (30) days after the termination of the Course.

12-5 In case any amount of the fund remitted by JICA remains unspent, ILANUD will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accommodations, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 By the request of JICA, ILANUD will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above.

13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be a part of the Record of Discussions:

- ANNEX I : Tentative Curriculum of the Course (in the Japanese FY 1988)
- ANNEX II : Schedule of Course Operation (for the Japanese FY 1988)
- ANNEX III : Tentative Estimate of Expenses to be borne by JICA (for the Japanese FY 1988).

NNEX I

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE (IN THE JAPANESE FY 1988)

DATE	MORNING	AFTERNOON
Jan.15 (Sun)	Arrival	
Jan.16 (Mon)	9:00 Opening Ceremony	1:15-2:45 Plenary Meeting (1) (Break) 3:00-4:30
Jan.17 (Tue)	9:00-10:30 Plenary Meeting (2) (Break) 10:45-12:15	1:15-2:45 Plenary Meeting (3) (Break) 3:00-4:30
Jan.18 (Wed)	9:00-10:30 Presentater's Pre- sentation (1) 10:45-12:15 Panel Discussion(1)	1:15-2:45 Presentater's Presentation (2) 3:00-4:30 Panel Discussion(2)
Jan.19 (Thu)	9:00-10:30 Presentater's Pre- sentation (3) 10:45-12-15 Panel Discussion(3)	1:15-2:45 Presentater's Presentation (4) 3:00-4:30 Panel Discussion(4)
Jan.20 (Fri)	9:00-10:30 Visiting Lecturer's Lecture (1) 10:45-12:15 Panel Discussion(5)	1:15-2:45 Visiting Lecturer's Lecture (2) 3:00-4:30 Panel Discussion(6)
Jan.21 (Sat)	Observation Tour	
Jan.22 (Sun)	Free	
Jan.23 (Mon)	9:00-12:00 Group Workshop (1)	1:15-4:15 Group Workshop (2)
Jan.24 (Tue)	9:00-12:00 Group Workshop (3)	1:15-4:15 Group Workshop (4)
Jan.25 (Wed)	9:00-10:30 General Discussion 1 10:45-12:15 General Discussion 2	1:15-2:45 General Discussion(3) 3:00-4:30 General Discussion(4)
Jan.26 (Thu)	9:00-12:00 Overall Discussion 1	1:00-4:00 Overall Discussion(2) (Conclusion)
Jan.27 (Fri)	9:00-12:00 Evaluation Session	1:00-4:00 Closing Ceremony
Jan.28 (Sat)	Departure	

ANNEX II.

SCHEDULE OF THE COURSE OPERATION (FOR THE JAPANESE FY 1988)

MONTH	COSTA RICAN SIDE		JAPANESE SIDE
	GOVERNMENT	ILANUD	
LATE JULY 1988	Signing of Record of Discussions	1. Signing of Record of Discussions. 2. Preparation of G.I.	Signing of Record of Discussions.
LATE AUGUST 1988	1. Distribution of G.I. and Application Forms 2. Submission of Form A-1.		1 Confirmation of Record of Discussions.
SEPT.	1. Receipt of Application Forms. 2. Notification of the Selection of Participants.	1. Selection of Participants. 2. Submission of Guidelines for preparation of Country Reports. 3. Submission of Bill of Estimated Costs.	1. Recruitment of Experts. 2. Submission of Form B-1 3. Remittance of Expenses.
LATE OCTOBER		1. Recruitment of Latin American Experts. 2. Receipt of Country Reports	
NOV.		1. Processing of Country Reports Information. 2. Preparation of Seminar (documents and guidelines)	
JANUARY 1989		1. Implementation of the Course.	1. Dispatch of Experts.
Late Febr. 1989		1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report.	

ANNEX III

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY JICA
(FOR THE JAPANESE FY 1988)

ITEM OF EXPENSES	BREAKDOWN	AMOUNT (US\$)
I. Invitation Expenses		
1. Airtickets (round trip)	700 for 20 persons	14,000.00
2. Per-diem	20 x 20 pers x 15 days	6,000.00
3. Accommodation	45 x 20 pers x 14 days	12,600.00
4. Transportation	20 x 20 persons	400.00
5. Transit per-diem	75 x 4 x 2 days	600.00
6. Insurance Premiums (Accident)	20 x 20 persons	400.00
SUB TOTAL		34,000.00
II. Training Expenses		
1. Employment Fee		
(1) Interpreters	175 x 12 days x 2 pers	4,200.00
(2) Translator	1,125 x 2 months x 1 pers	2,250.00
(3) Chief Secretary	1,000 x 2 months x 1 pers	2,000.00
(4) Secretary	500 x 3 months x 1 pers	1,500.00
2. Material Procurement		
(1) Articles of Consumption		375.00
(2) Books		700.00
(3) Copies		875.00
(4) Course Report and Others	20 x 150 Units	3,000.00
(5) Rent. of Equipment	162.5 x 14 days	2,275.00
(6) videorecording		2,000.00
3. Study Tour	50 x 22 persons	1,100.00
4. Meeting Expenses		
Opening Ceremony	12.5 x 85 pers x 2 times	2,125.00
Closing Ceremony		
5. Communication		1,000.00
SUB TOTAL		23,400.00
GRAND TOTAL		57,400.00

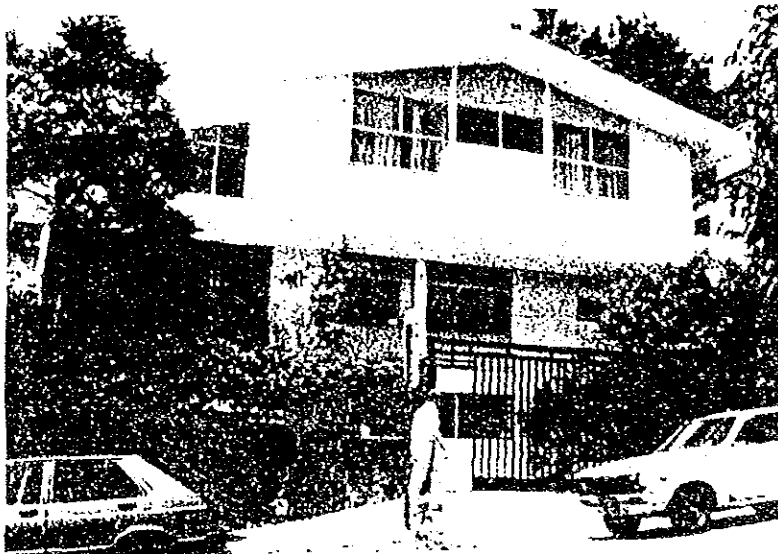
資料2 General Information (案)

THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME
IN THE AREA OF PREVENTION AND CONTROL OF
DRUG ABUSE

GENERAL INFORMATION ON THE REGIONAL SEMINAR

ENTITLED

"EFFECTIVE COUNTERMEASURES AGAINST
DRUG OFFENSES AND ADVANCEMENT
OF CRIMINAL JUSTICE ADMINISTRATION"



ILANUD Training Center

GOVERNMENT OF COSTA RICA
UNITED NATIONS LATIN AMERICAN INSTITUTE FOR CRIME PREVENTION
AND THE TREATMENT OF OFFENDERS (ILANUD)
WITH THE TECHNICAL COOPERATION OF THE UNITED NATIONS ASIA
AND FAR EAST INSTITUTE FOR THE PREVENTION OF CRIME AND
TREATMENT OF OFFENDERS (UNAFEI)
AND THE FINANCIAL ASSISTANCE OF THE GOVERNMENT OF JAPAN,
THROUGH THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION
AGENCY (JICA)

INTRODUCTION

A. Information on the Training Seminar

- A-1 Rationale
- A-2 Purpose
- A-3 Objectives
- A-4 Duration
- A-5 Site
- A-6 Language
- A-7 Curriculum
- A-8 Workshop Activities and Schedule
- A-9 Participating Countries
- A-10 Number of Participants
- A-11 Certificate of Training

B. Admission Requirements

- B-1 Qualifications of applicants
- B-2 Procedures of application

C. Presentation of Country Reports

D. Allowances and Expenses

E. Accommodations

F. Regulations

G. Other Information

- G-1 Visa
- G-2 Airplane Tickets
- G-3 Other travel expenses
- G-4 Personal expenses
- G-5 Photographs
- G-6 Arrival procedures
- G-7 Registration

- G-8 Inaugural Session
- G-9 Climate
- G-10 Costa Rican currency
- G-11 Additional Information

Appendices seminar

- I Curriculum
- II Seminar Schedule
- III Suggested outline of country reports.

INTRODUCTION

The United Nations Latin American Institute for Crime Prevention and the Treatment of Offenders, ILANUD, is an autonomous, regional service-oriented and non-profit international organization, formed by an agreement between the United Nations and the Government of Costa Rica.

ILANUD's central purpose is to cooperate with the Latin American and Caribbean Governments to promote efficient and effective judiciaries, crime prevention and up-to-date treatment of offenders, and thus contribute to a harmonious social and economic development in a context of full respect for Human Rights.

Since its creation in 1975, ILANUD has carried out projects and activities to prevent drug abuse and to encourage drug control within the region. Recently, it has defined Organized Crime, especially drug trafficking, as one of its programmatic areas.

Based on the recommendations of the United Nations Seventh Congress on the Prevention of Crime and Treatment of Offenders to the effect that coordination of activities among U.N. regional and interregional institutes be intensified, and taking into

account ILANUD's and the United Nations Asia and Far East Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders, United Nations regional Institute in Asia and the Pacific region (UNAFEI) ample experience in the field of Crime Prevention and Criminal Justice, both Institutes and the Japan International Cooperation Agency (JICA) have joined efforts to celebrate a Regional Seminar on Effective Countermeasures against Drug Offences and Advancement of the Criminal Justice Administration.

A. INFORMATION ON THE TRAINING SEMINAR

A-1. RATIONALE

The growing and alarming problems of drug production, processing and distribution in Latin America and the Caribbean and the increased, widely-spread corruption connected with these illegal activities are destabilizing the region's basic democratic institutions, causing serious economic and social problems and threatening the future of the countries of the region.

A regional seminar to seek effective, viable countermeasures against drug offenses and to promote the advancement of the administration of justice, can provide an excellent forum for high-level policy makers

to address these problems with a realistic, matter-of-fact approach.

A-2. PURPOSE

The purpose of the Seminar is to conduct an overall examination and evaluation of the problems of drug production, abuse, trafficking and handling of its profits, and prevention and control of them in Latin America and the Caribbean countries with analysis both in theory and fact, as well as planning of feasible and effective regional solutions.

A-3. MAIN TOPICS OF THE SEMINAR

Main topics that will be discussed at the Seminar are presented in Appendix I.

A-4. OBJECTIVES

By the end of the Seminar, the participants are expected to be able to:

- (1) further recognize the actual situation of drug offences in the region.
- (2) sufficiently analyze the causes of drug problems as well as important factors for the effective and

efficient countermeasures in not only their own countries but also in the region.

(3) further analyze present countermeasures against drug offences in their respective countries.

(4) exchange necessary intelligence regarding drug offences and countermeasures against them.

(5) develop feasible and more effective countermeasures, and

(6) formulate overall strategies for regional and interregional cooperation against drug offences.

A-5. DURATION

The first Seminar will be held from 16 January to 28 January, 1989.

A-6. SITE

The United Nations Latin American Institute for Crime Prevention and the Treatment of Offenders (ILANUD)
P.O. Box 10.071 San Jose 1000-Costa Rica
Telephone 21-38-86
Telex 2849-ILANUCR

A-7. LANGUAGE OF INSTRUCTION

The Seminar will be conducted in Spanish and English. Simultaneous interpretation in Spanish and English will be available.

A-8. CURRICULUM

The curriculum of the Seminar is presented in Appendix II.

A-9. PARTICIPATING COUNTRIES

The countries invited to nominate candidates are: Argentina, Bolivia, Brazil, Colombia, Costa Rica, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guatemala, Honduras, Jamaica, Mexico, Nicaragua, Paraguay, Peru, Trinidad and Tobago and Venezuela.

A-10. NUMBER OF PARTICIPANTS

Each country is requested to nominate three candidates indicating their priority status for consideration by ILANUD. The total number of participants from the above-mentioned countries shall be 22.

A-11. CERTIFICATE OF TRAINING

Participants who successfully complete the Seminar will be awarded a Certificate of Training.

B. ADMISSION REQUIREMENTS

B-1. QUALIFICATIONS OF APPLICANTS

- (a) To be nominated by their respective Governments in accordance with the procedures outlined in B-2
- (b) To be university graduates, or to have an equivalent academic background.
- (c) To be presently engaged in criminal justice administration, or other responsibilities connected with the prevention and control of drug offences.
- (d) To be high-ranking officials at the policy-making level.
- (e) To have a practical experience of more than five years in the related field.
- (f) To be under fifty-five (55) years of age in principle.
- (g) To be in good health, both physically and mentally to complete the Seminar.

B-2. PROCEDURES FOR APPLICATION

(a) Governments wishing to participate in the Seminar shall forward five (5) copies of Application Form for each nominee to the Government of Costa Rica through diplomatic channels by the 15 of September.

(b) The Government of Costa Rica will inform the nominating countries whether or not applicants are accepted to the Seminar by the end of September.

C. PRESENTATION OF COUNTRY REPORTS

Participants are requested to prepare a country report following the guidelines prepared by ILANUD (see Appendix III). The report must be between fifteen and twenty pages long, typewritten in double space form and should be submitted to ILANUD on the third week of October. Participants are requested to supplement their presentation with audiovisual aids such as maps, projection slides, tables, graphs, etc.

D. ALLOWANCES AND EXPENSES

The Government of Japan will bear the following expenses:

(1) Economy class round-trip ticket between the

international airport of the participant's country and the international airport of Costa Rica.

(2) Domestic travel costs during observation tours, and

(3) Living allowance and accommodations to be paid in Costa Rican currency (colones) (equivalent of US\$65 per day) for board and lodging. The living allowance is enough to cover normal maintenance expenses of participants only. No allowance of any kind will be paid for accompanying dependents.

(4) Accident insurance for foreign participants during the Seminar.

E. ACCOMMODATIONS

Seminar participants will stay at a suitable hotel in the heart of San Jose, the capital city of Costa Rica.

F. REGULATIONS

Participants are advised:

(1) to follow the seminar curriculum and schedule,

(2) not to extend the training period,

(3) not to bring any dependent or member of their family,

(4) to return to their home country upon completion of

the seminar in accordance with the schedule established by ILANUD

(5) to carry out such instructions and abide by such conditions as may be stipulated by both the nominating government and the government of Costa Rica regarding the training,

(6) to observe the rules and regulations of the training institution or establishment in which participants will undertake study or training,

(7) to refrain from engaging in political activities, or any form of employment for profit or gain, or any improper act,

(8) to discontinue the seminar should they become seriously ill and be considered unfit to continue the training seminar.

G. OTHER INFORMATION

G-1. VISA

Before leaving their countries of origin, participants should obtain visa for entry to Costa Rica which will be issued by the diplomatic missions of Costa Rica in their respective countries.

G-2. AIRPLANE TICKET

Participants are requested to arrive in and leave Costa Rica on the dates designated by ILANUD. The dates will be indicated in their airline tickets.

G-3. OTHER TRAVEL EXPENSES

Participants shall assume responsibility for all other expenses incurred during the travel between their home countries and Costa Rica. *

G-4. PERSONAL EXPENSES

Participants shall make their own arrangements for any financial matter of a personal nature not provided for by ILANUD such as airport tax, excess baggage charges, etc.

G-5. PHOTOGRAPHS

For administrative purposes, participants are requested to bring five (5) copies of a recent photograph (passport size).

*/Participants who absolutely require to spend one night enroute to Costa Rica will be given an additional amount of up to US\$75,00.

G-6. ARRIVAL PROCEDURES

Upon arrival at the Costa Rica international airport, participants are requested to observe the following arrival procedures:

(a) When quarantine, immigration, and customs clearance procedures have been completed, participants should proceed to the lounge leading to the Airport Exit.

(b) A representative of ILANUD holding a placard marked with your name and ILANUD's will be waiting for you. Please stay in the lounge until you find the representative of ILANUD.

G-7. REGISTRATION

Will take place at ILANUD's headquarters on Monday, January 16, 1989, from 8:00 a.m. to 10:00 a.m. Credentials, general instructions and per-diem will be provided to participants at that time.

G-8. INAUGURAL SESSION

Will take place on Monday, January 16, 1989 at ILANUD's Training Center in Los Yoses, San Jose, at 10:30 a.m.

G-9. CLIMATE IN COSTA RICA

Month: January

Average country temperature: 26 C

Average temperature San Jose: 20 C

Humidity: 82%

Rainfall mm.: 0.0 mm

G-10. COSTA RICAN CURRENCY

The monetary unit is the colon. Current rate of exchange is US\$1.00 = C76,80 colones. The rate of exchange is subject to fluctuation.

G-11. ADDITIONAL INFORMATION REQUIRED

For further information contact:

Departamento de Capacitación
Instituto Latinoamericano de Naciones Unidas
para la Prevención del Delito y Tratamiento
del Delincuente (ILANUD).

Apartado 10.071 - San Jose 1000, Costa Rica

Telephone: 21-38-86 and 21-39-58

Telex 2849 - ILANUCR

APPENDIX I

CONTENTS

TOPIC 1

1. CURRENT SITUATION IN LATIN AMERICA AND THE CARIBBEAN WITH REGARD TO DRUG ABUSE AND DRUG TRAFFICKING

A. Description and analysis of statistical data such as, figures and volumes related to production, trafficking, confiscation, addict populations, and arrestees.

B. Economic and social factors. The role of each country in the problem: producer countries, countries used as stop-overs, and consumer countries.

C. National policies on the control of drug abuse and trafficking. Organization and operation of the agencies dedicated to control within each country.

D. Ways in which drug abuse and trafficking affect the development of each country and the region.

TOPIC 2

2. FORMAL SOCIAL CONTROL

A. Response of the Criminal Justice Administration System to drug abuse and trafficking.

B. Effectiveness of the principles of Criminal Law with regard to the control of such abuse: criminal sanctions, evidentiary system, specification of violations, and the means for applying said sanctions, both in national legislation and international instruments. Difficulties in executing the same.

TOPIC 3

3. INFORMAL SOCIAL CONTROL

A. Existing measures and agencies for the prevention and control of such abuse, in the form of educational programs.

B. Preventive educational programs at the elementary and high school level.

C. Participation of the private sector in such programs.

D. Participation of the media in such programs.

E. Community participation.

TOPIC 4

4. POSSIBILITIES OF PROMOTING REGIONAL AND INTER-REGIONAL COOPERATION

A. International instruments.

B. Unification of legislation.

C. Establishment of documentation centers.

D. Cooperation on the judicial, police, customs and preventive levels.

E. Scientific cooperation and technical assistance.

F. Joint training, and development of the research project.

APPENDIX II

TENTATIVE CURRICULUM OF THE SEMINAR

DATE	MORNING	AFTERNOON
Jan. 15 (Sun)	Arrival	
Jan. 16 (Mon)	08:00-10:00 Registration 10:30-11:30 Opening Ceremony	1:15-2:45 Plenary Meeting (1) (Break) 3:00-4:30
Jan. 17 (Tue)	9:00-10:30 Plenary Meeting (2) (Break) 10:45-12:15	1:15-2:45 Plenary Meeting (3) (Break) 3:00-4:30
Jan. 18 (Wed)	9:00-10:30 Presentator's Pre- sentation (1) 10:45-12:15 Panel Discussion(1)	1:15-2:45 Presentator's Presentation (2) 3:00-4:30 Panel Discussion(2)
Jan. 19 (Thu)	9:00-10:30 Presentator's Pre- sentation (3) 10:45-12:15 Panel Discussion(3)	1:15-2:45 Presentator's Presentation (4) 3:00-4:30 Panel Discussion(4)
Jan. 20 (Fri)	9:00-10:30 Visiting Lecturer's Lecture (1) 10:45-12:15 Panel Discussion(5)	1:15-2:45 Visiting Lecturer's Lecture (2) 3:00-4:30 Panel Discussion(6)
Jan. 21 (Sat)	Observation Tour	
Jan. 22 (Sun)	Free	
Jan. 23 (Mon)	9:00-12:00 Group Workshop (1)	1:15-4:15 Group Workshop (2)
Jan. 24 (Tue)	9:00-12:00 Group Workshop (3)	1:15-4:15 Group Workshop (4)
Jan. 25 (Wed)	9:00-10:30 General Discussion 1 10:45-12:15 General Discussion 2	1:15-2:45 General Discussion(3) 3:00-4:30 General Discussion(4)
Jan. 26 (Thu)	9:00-12:00 Overall Discussion 1	1:00-4:00 Overall Discussion(2) (Conclusion)
Jan. 27 (Fri)	9:00-12:00 Evaluation Session	1:00-4:00 Closing Ceremony
Jan. 28 (Sat)	Departure	

APPENDIX III

GUIDELINES FOR THE PREPARATION OF THE REPORT

FOR THE FIRST TOPIC

-Police, judicial and penitentiary statistics (from the last five years) on cases initiated and resolved by the Criminal Justice Administration System which are related to drug abuse and trafficking, including types of crimes and characteristics of the accused (age, sex, social class, nationality, amounts confiscated, etc.).

-Statistics (from the last five years) containing figures on the number of drug plantations, the entry of precursor chemicals into the country, and the amount of drugs which enter into the country or pass through the country on their way to one or more countries.

-Statistics (from the last five years) indicating which social groups are most vulnerable to the consumption of drugs.

-Listing of the governmental institutions which deal with the problems of drugs, indicating the objectives, area of competence, programs developed and carried out, budget, etc. of each.

-Is there a national office charged with coordinating policies on the control of drug abuse and trafficking? If so, how does it function?

-Is the problem of drug abuse and trafficking addressed in national development plans?

-Are there non-governmental agencies (international, private, etc.) which deal with the problem of drug abuse and trafficking? If so, what are their objectives, programs and budget?

-Are there high-level national governmental commissions dedicated to the study of the problem of drug abuse and trafficking? If so, what is the nature of their role?

FOR THE SECOND TOPIC

-Provide information on the preventive and repressive police forces, indicating whether or not regulations, specialized personnel, and budgetary resources exist, the number of personnel, work programs, etc., all in relation to drug abuse and trafficking.

-At the judicial level, are there any specialized courts or judges, or competences dedicated specifically to drug abuse and trafficking?

-In the penitentiaries, are there regulations, specialized personnel or specialized institutions to deal with the problem of drug abuse and trafficking?

-Provide the national and international criminal, criminal procedural, and special criminal legislation in force (regulations, laws, agreements and treaties, etc.)

-Are there conflicts in the application of local legislation and international instruments?

FOR THE THIRD TOPIC

-List of the institutions which have preventive educational programs, indicating the programs, objectives, results, and whether or not diagnoses or studies have been made as to the effectiveness of such measures, etc.

-The sectors to which these preventive educational programs are addressed.

FOR THE FOURTH TOPIC

-Are there institutions within the country dedicated to conducting research on drug abuse and trafficking?

-List the studies carried out on drug abuse and trafficking in the country, and indicate the institutions responsible for same .

-List the treaties, agreements, etc., signed by your country,
and indicate which have been ratified.

